

## 第5回県北地区新設高等学校統合検討委員会

日時 令和5年2月10日(金) 14:00～

会場 岩手県立一戸高等学校 会議室

### 次第

- 1 開会
- 2 県北地区新設高等学校統合検討委員会委員長あいさつ
- 3 報告
  - (1) 第5回統合課題検討小委員会及び第2回教育内容検討小委員会
- 4 協議
  - (1) これまでの取組状況の確認等について
  - (2) 教育内容（スクール・ポリシー）について
  - (3) 校章（図案）について
  - (4) 今後の統合準備の計画について
  - (5) その他
- 5 その他
- 6 岩手県教育委員会あいさつ
- 7 県北地区新設高等学校統合検討委員会委員長あいさつ
- 8 閉会



## 県北地区新設高等学校統合検討委員会名簿

	氏 名	所 属	備 考
1	鳩岡 矩雄	二戸市教育委員会	
2	中嶋 敦	一戸町教育委員会	
3	生内 雄二	二戸市商工会	
4	中村 善雄	一戸町商工会	
5	筒井 裕一	二戸地区中学校校長会	二戸市立福岡中学校
6	佐々木由貴子	一戸町校長会	一戸町立一戸中学校
7	田家 亘	二戸市PTA連合会	二戸市立福岡中学校 PTA
8	田中 勝也	一戸町PTA連合会	一戸町立一戸中学校 PTA
9	中奥 孝宏	岩手県立福岡工業高等学校同窓会	
10	高村 正彦	岩手県立一戸高等学校同窓会	
11	小笠原定吉	岩手県立福岡工業高等学校 PTA	
12	佐藤 佳子	岩手県立一戸高等学校 PTA	
13	今野 雅之	岩手県立福岡工業高等学校	
14	上野 光久	岩手県立一戸高等学校	
15	佐々木正人	岩手県立福岡工業高等学校	
16	新田 剛史	岩手県立一戸高等学校	



### 3 報告

(1) 第5回統合課題検討小委員会及び第2回教育内容検討小委員会（合同で開催）

- ① 開催日時 令和5年1月23日（月） 16:00～16:50
- ② 開催場所 岩手県立福岡工業高等学校 会議室
- ③ 出席者 23名
- ④ 主な内容
  - ・これまでの取組状況の確認等について
  - ・教育内容（スクール・ポリシー）について
  - ・校章（図案）について
  - ・今後の統合準備の計画について
  - ・両校の各課主任による打合せ



## 協議事項

- (1) これまでの取組状況の確認等について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- (2) 教育内容（スクール・ポリシー）について・・・・・・・・・・・・ P 7
- (3) 校章（図案）について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9
- (4) 今後の統合準備の計画について・・・・・・・・・・・・・・・・ P12
- (5) その他





## 4 協議

### (1) これまでの取組状況の確認等について

#### 1 校名について

- ・岩手県立<sup>ほくお</sup>北桜高等学校（仮称）  
（令和5年9月の県議会における条例改正を経て校名が正式決定となる）

#### 2 統合形態について

- ・完全統合（令和5年度の福岡工業高校と一戸高校の1・2年生は令和6年度から新設校の生徒となる）

#### 3 校舎制の形態、校舎の名称

- ・独立校舎型校舎制とする。
- ・福岡工業高校校舎 → 「工業校舎」（工業科の生徒が主に学ぶ校舎）
- ・一戸高校校舎 → 「総合校舎」（総合学科の生徒が主に学ぶ校舎）

#### 4 校歌について

- ・新たな校歌を作成する
- ・依頼先 SaToMansion（予定）  
（実の四兄弟によるバンド。長男、次男、三男は一戸高校OB、四男は福岡工業高校OB）
- ・納期：令和5年10月（予定）
- ・納品形式：作詞・作曲（ピアノ伴奏込み） 3番まで

#### 5 校訓について

- ・「誠実」「進取」「創造」とする。
- ・誠実…真心があるまじめな生徒
- ・進取…自ら進んで新しいことにチャレンジする態度を持つ生徒
- ・創造…未来や地域を作り出す能力を養う生徒

#### 6 教育内容について

- ・地域社会や地域産業を支える工業科の各学科及び総合学科の各系列をそれぞれ維持する。
- ・統合による農業、工業、商業、家庭、福祉及び芸術等の学びの連携、地域と協働した活動（共同研究、インターンシップ、探究活動等）の一層の充実を図る。
- ・生活時程の統一や教育課程等については、統合準備委員会において検討する。

#### 7 制服について

- ・新たな制服を作成する。令和6年度入学生から新しい制服を着用する。なお、令和5年度以前の福岡工業高校及び一戸高校の入学者は、統合後も現行の制服を着用する。

- ・両校の在校生並びに二戸市と一戸町の中学生及び保護者を対象にした制服アンケート結果を、新制服作成に反映する。

・新制服作成の日程について

時期	内容
令和4年11月～令和5年3月	基本方針検討
令和5年4月～8月	制服デザイン・メーカー選定
令和5年9月～12月	新制服発表
令和6年3月～4月	採寸・納品

**参考**

制服アンケート結果

質問項目	中学生(517)			中学生保護者(315)			在校生(217)		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
1 制服 あった方が良い	413	80%		280	89%		176	81%	
2 あった方が良い理由 【複数回答】	所属わかる	190	37%	経済面	132	42%	所属わかる	53	24%
	その他	134	26%	平等性	116	37%	社会性	43	20%
	平等性	126	24%	所属わかる	115	37%	平等性	36	17%
3 制服導入のポイント 【複数回答】	機能性	383	74%	機能性	257	82%	機能性	142	65%
	着心地	354	68%	着心地	210	67%	着心地	127	59%
	ファッション性	248	48%	経済性	168	53%	ファッション性	106	49%
4 男子制服の色	黒	225	44%	紺	165	52%	黒	87	40%
	紺	174	34%	黒	62	20%	紺	78	36%
5 男子制服デザイン	ブレザー	280	54%	ブレザー	196	62%	ブレザー	112	52%
	スーツスタイル	139	27%	スーツスタイル	58	18%	学生服	56	26%
6 女子制服の色	紺	218	42%	紺	190	60%	紺	102	47%
	黒	142	27%	グレー	61	19%	黒	39	18%
7 女子制服デザイン	ブレザー	287	56%	ブレザー	202	64%	ブレザー	133	61%
	スーツスタイル	126	24%	スーツスタイル	62	20%	セーター服	44	20%
8 ベスト・セーター あった方が良い	353	68%	205	65%	155	71%			
9 制服の価格	6万以下	260	50%	6万以下	152	48%	6万以下	93	43%
	6～7万	142	27%	6～7万	79	25%	6～7万	52	24%

- ・制服はあった方が良く、8割以上が回答。
- ・制服には、機能性や着心地を求めている。中学生・在校生はファッション性やジェンダーレスを求める声も多い。
- ・男子、女子制服は、ブレザータイプで、色は紺色が良いとの回答が多い。
- ・ベスト・セーターについては、在校生の7割があった方が良くと回答。
- ・価格は、6万円以下の希望が多い。

## 8 部活動について

- ・各校に現在設置している部を維持する。
- ・活動は合同で行う。スクールバスを運行して校舎間を移動し、両校舎の生徒が一緒に活動できるようにする。

## 9 校章について

- ・新たな校章を作成する。
- ・両校の在校生・保護者・教職員からデザインを募集し、地元の業者に委託してデザイン化する。

☞ 協議 9 ページ



## (2) 教育内容（スクール・ポリシー）について

### 岩手県立北桜高等学校（仮称） 三つの方針（スクール・ポリシー）（案）

#### 1 学校教育目標

真理を求め、自他を敬愛する誠実な人間性の育成  
 課題解決に向けて、主体的に判断し他者と協働する態度の育成  
 未来を切り拓く感性を持ち、地域社会に貢献する創造力豊かな人材の育成

#### 2 三つの方針（スクール・ポリシー）

グラ フ デ ユ エ ー シ ョ ン ・ ポ リ シ ー	<p><b>このような力を育てます</b></p> <p><b>【工業科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新しい時代に対応し、持続可能な産業の発展と社会に貢献できる力</li> <li>(2) 望ましい職業観や勤労観、社会人として必要な資質</li> <li>(3) 他者を尊重し、思いやる心、より良い人間関係を構築できる力</li> </ul> <p><b>【総合学科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 持続可能な社会の実現に向け、自ら課題を見出し、他者と協働して課題を解決する力</li> <li>(2) 希望する進路（進学、就職）を実現する力</li> <li>(3) SDG s の視点を持ち、SDG s の目指す社会に向けて具体的に実践する力</li> </ul>
カ リ キ ュ ラ ム ・ ポ リ シ ー	<p><b>このような教育活動を行います</b></p> <p><b>【工業科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) わかる授業・身に付く授業の推進により、基礎学力の向上を図る学習</li> <li>(2) 工業科目や工業実習等の授業をとおして、工業の専門的知識と技能・技術を身に付ける学習</li> <li>(3) 教科横断を図り、地域産業・地域行政等と連携した教育活動をとおして、主体的・協働的・探究的な学習</li> <li>(4) 社会人・職業人としてのキャリアアップを踏まえ、資格取得や検定合格に向けた取組</li> </ul> <p><b>【総合学科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 主体的・協働的・探究的な学びを展開</li> <li>(2) 大学や研究機関、行政、地域との連携による学びの深化</li> <li>(3) SDG s の視点及び実践</li> <li>(4) いわての復興教育（いきる・かかわる・そなえる）</li> </ul>

アドミッション・ポリシー	<b>このような生徒を待っています</b>
	<p><b>【工業科】</b></p> <p>(1) 工業に興味・関心があり、本校の教育内容や学習活動に魅力を感じている生徒</p> <p>(2) 工業の専門的な学習をとおして、社会に貢献する意欲を持っている生徒</p> <p>(3) 向学心が高く、資格取得に積極的に挑戦する生徒</p> <p>(4) 生徒会や部活動、地域貢献活動に積極的に取り組む意欲がある生徒</p> <p><b>【総合学科】</b></p> <p>(1) 希望する分野、関心のある分野へ進学・就職したい生徒</p> <p>(2) 地域の魅力を発見・発信し、地域を盛り上げたい生徒</p> <p>(3) 他者と協働、自分を広げ、独自性を追求したい生徒</p> <p>(4) SDGs 行動や、世界遺産を発展させたい生徒</p>

### 3 連携先

○次の魅力化協働パートナーを想定している。

- ・ 県内大学
- ・ 商工会（地域企業・商店・福祉施設等の産業団体）
- ・ 小中学校
- ・ 保護者
- ・ 市役所・町役場担当課、及び教育委員
- ・ 地域諸団体（町内会等）

### 4 特色ある教育課程（探究）

具体的な内容	<p><b>【工業科】</b></p> <p>(1) 地域の中学生への出前授業</p> <p>(2) 地域の小学生（親子）への電気工作教室</p> <p>(3) 県北ものづくり産業ネットワークと連携した出前講座</p> <p>(4) 工場見学</p> <p>(5) 工業の学びを生かした地域貢献活動</p> <p>(6) その他（地域からの協力要請への対応）</p> <p><b>【総合学科】</b></p> <p>(1) 地方創生プロジェクト学習</p> <p>(2) 系列と地域が連携した商品開発</p> <p>(3) 地域創生講話</p> <p>(4) 少人数グループ講話会</p> <p>(5) 北いわて未来人育成事業出前講座</p> <p>(6) その他（地域からの協力要請への対応）</p>
--------	---

### (3) 校章（図案）について

- 両校の在校生・保護者・教職員からデザインを募集し、地元ゆかりの業者に委託してデザイン化する。

#### 1 デザインの募集、図案の選定について

ア 募集期間 令和4年11月16日（水）～12月16日（金）

イ 応募数 43

ウ 経過

- ①応募された43の校章(図案)から統合課題検討小委員会で14に絞り、両校在校生及び職員にアンケートを実施。
- ②①のアンケート結果等から8に絞り、統合課題検討小委員会で統合検討委員会に推薦する3つの校章(図案)を選定。(→10 ページ参照)

#### 2 統合検討委員会における選定手順

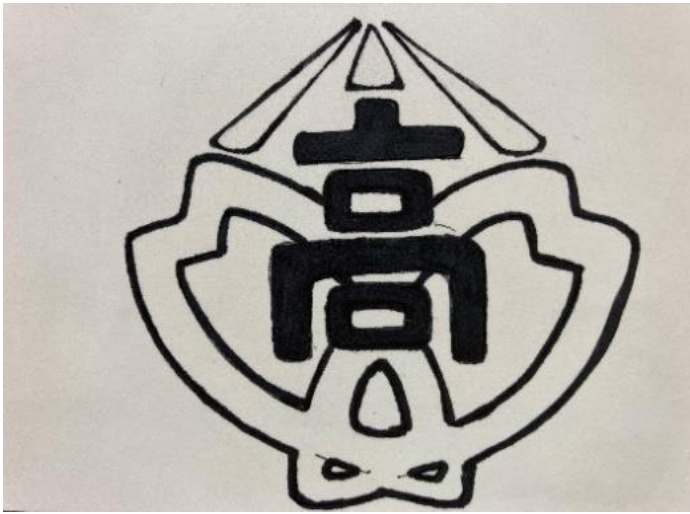
校章（図案）について意見交換のうえ、投票により1つを選定

#### 3 校章作成日程

- ・校章（図案）の決定（令和5年2月10日）
- ・業者に委託してデザイン化（令和5年2月～4月）
- ・校章 決定（令和5年5月）

[図案]

A案



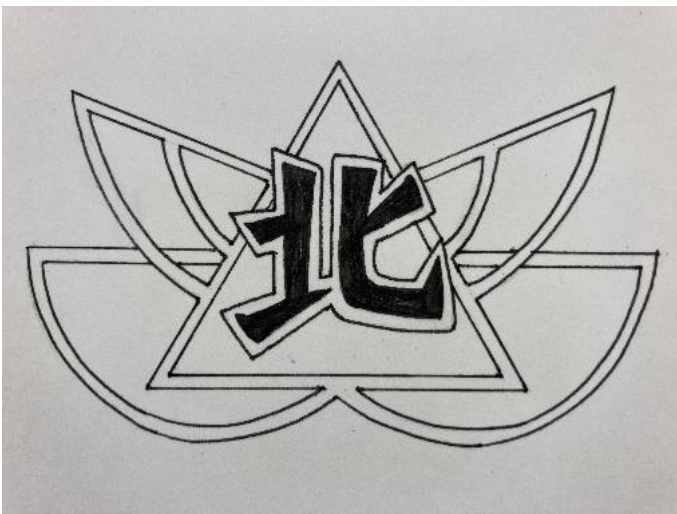
2枚の桜の花びらがつながっているのは、2つの高校が統合したことを表している。上に向かう3本の線は3つの学科の生徒が成長していくことを表している。

B案



円を描くように舞っている桜の花びらは、途切れることのない”永遠”を表しており、吹く風は伝統をつなぐ風としていつまでも吹き続ける伝統の継承を表現している。

C案



男神女神のある山と一戸高等学校の松の葉を描くことで2つの高校の伝統が衰えることのない明るい未来を願った。



<参考>校章 デザイン例

○「高」など漢字が入る校章



福岡工業高校



一戸高校

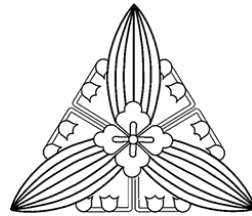


福岡高校

○文字等が入らない校章



盛岡農業高校



遠野高校



釜石高校



## (4) 今後の統合準備の計画について

○ 両校の教職員で構成する統合準備委員会が、統合に向けた諸準備を進める。

### 1 統合準備委員会の構成員（予定）

#### [福岡工業高校]

	氏 名	校務分掌等
1	今 野 雅 之	校長
2	佐々木 正 人	副校長
3	浅 沼 卓 雄	事務長心得
4	三 浦 潤	総務主任
5	西 舘 智香子	教務主任
6	藤 島 努	生徒指導主事
7	阿 部 仁 志	進路指導主事
8	寒河江 みちる	保健主事
9	杉 山 元 基	機械システム科主任
10	佐々木 正 勝	電気情報システム科主任

#### [一戸高校]

	氏 名	校務分掌等
1	上 野 光 久	校長
2	新 田 剛 史	副校長
3	三 澤 剛	事務長
4	千 葉 圭 子	総務主任
5	稲 垣 真 紀	教務主任
6	及 川 涉	生徒指導主事
7	高 橋 優 子	進路指導主事・情報ビジネス系列（商業）
8	佐々木 整	厚生主任
9	大 矢 晃 子	総合学科推進課主任・生活・文化系列（家庭）
10	岩 間 裕	人文・自然系列・（地歴・公民）
11	阿 部 也寸志	介護・福祉系列（福祉）
12	工 藤 峰 生	生活・文化系列（農業）
13	三 船 桂 子	生活・文化系列（芸術）

### 2 準備委員会実施日（予定）

4月26日（水） 5月30日（火） 6月28日（水） 7月19日（水） 8月29日（火）  
 9月21日（木） 10月24日（火） 11月27日（月） 12月20日（水） 1月30日（火）  
 2月20日（火）

### 3 検討事項（予定）

別紙のとおり

### 4 周知方法

統合準備委員会において決定した新設校に関することは、ホームページ、note等で情報を発信することを検討中。



## 統合新設校の姿について

### 福岡工業高校

[機械システム科・電気情報システム科]

募集定員 80 名：2 学科 2 学級

専門教育を実践する  
2 校の発展的統合

### 一戸高校

[総合学科]

募集定員 120 名：1 学科 3 学級

## 二戸ブロックにおける**専門教育を担う学校**の設置（令和6年度）

募集定員 200 人：5 学級校（工業学科 2 学級、総合学科 3 学級）

ブロック内の各専門分野に関する特色ある学科等の機能を維持した統合により、  
**地域の将来を見据えた専門教育の拠点となる学校として再編**

- ・ 工業学科は、現行の機械と電気の学びを維持。
- ・ 総合学科は、現行の系列（人文・自然、情報ビジネス、生活・文化、介護・福祉）を維持。
- ・ 両校の校舎等を活用する「校舎制」を導入。
- ・ 「総合的な探究の時間」等を活用し、農業・工業・商業・家庭・福祉が連携した学びの交流・充実（工業学科・総合学科各系列の生徒が相互の学びを体験する等）。
- ・ 地元企業や団体と協力した学びの実践（地域にある多様な産業に関連し、6次産業化、高付加価値化への取組等）。
- ・ 同じ学校で、それぞれの分野を学んだ卒業生同士の連携による地域産業の振興。

## 県北地区新設高等学校統合検討委員会

### 1 統合課題検討小委員会

参考
----

#### [福岡工業高校]

	氏名	校務分掌等
1	佐々木 正 人	副校長
2	浅 沼 卓 雄	事務長心得
3	三 浦 潤	総務主任
4	西 舘 智香子	教務主任
5	藤 島 努	生徒指導主事

#### [一戸高校]

	氏名	校務分掌等
1	新 田 剛 史	副校長
2	三 澤 剛	事務長
3	千 葉 圭 子	総務主任
4	稲 垣 真 紀	教務主任
5	及 川 涉	生徒指導主事

### 2 教育内容検討小委員会

#### [福岡工業高校]

	氏名	校務分掌等
1	佐々木 正 人	副校長
2	浅 沼 卓 雄	事務長心得
3	三 浦 潤	総務主任
4	西 舘 智香子	教務主任
5	藤 島 努	生徒指導主事
6	阿 部 仁 志	進路指導主事
7	寒河江 みちる	保健主事
8	杉 山 元 基	機械システム科主任
9	佐々木 正 勝	電気情報システム科主任

#### [一戸高校]

	氏名	校務分掌等
1	新 田 剛 史	副校長
2	三 澤 剛	事務長
3	千 葉 圭 子	総務主任
4	稲 垣 真 紀	教務主任
5	及 川 涉	生徒指導主事
6	高 橋 優 子	進路指導主事・情報ビジネス系列（商業）
7	佐々木 整	厚生主任
8	大 矢 晃 子	総合学科推進課主任・生活・文化系列（家庭）
9	岩 間 裕	人文・自然系列・（地歴・公民）
10	阿 部 也寸志	介護・福祉系列（福祉）
11	工 藤 峰 生	生活・文化系列（農業）
12	三 船 桂 子	生活・文化系列（芸術）

## 県北地区新設高等学校 統合検討委員会等に関するスケジュール

回	開催時期	検討内容
第1回	令和4年 7月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画についての経過報告</li> <li>・ 委員の委嘱</li> <li>・ 委員長及び副委員長の選出</li> <li>・ 統合検討委員会設置運営要綱について</li> <li>・ 統合までのスケジュール等の確認</li> <li>・ 主な検討事項</li> <li>・ 校名（案）の検討（決定方法について）</li> <li>・ 校舎制について</li> </ul>
第2回	令和4年 9月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校名（案）の検討（校名候補の決定）</li> <li>・ 教育内容の検討①</li> <li>・ 校章、校歌、校訓、制服等について①</li> </ul>
第3回	令和4年 10月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校名（案）の検討（校名候補の決定）</li> </ul>
第4回	令和4年 11月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育内容の検討②</li> <li>・ 校章、校歌、校訓、制服等について②（案の提示）</li> <li>・ 部活動について①</li> </ul>
第5回	令和5年 2月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの取組状況等の確認について</li> <li>・ 教育内容、校章（案）の検討</li> <li>・ 今後の統合準備の計画について</li> </ul>